

## ライフ・イン京都

〒615-8256  
京都市西京区山田平尾町46-2  
TEL.075-381-1870 FAX.075-381-1899  
http://www.lifeinkyoto.com



## 出かけませんか？ 御土居ともみじ苑公開 北野天満宮

学問の神様として知られる「菅原道真公」を祀る神社で天曆元(947)年に創建され全国に一万二千社の天神社・天満宮の総本社です。

北野天満宮は、梅の名所として有名ですが、秋には豊臣秀吉が築いた土塁「御土居」の一部が残っており、その一帯は紅葉の名所として知られています。紅葉が色づく頃には、夜間のライトアップが実施され、上七軒の舞妓による舞の奉納、北野天神太鼓会の奉納演奏など多数行われます。

朱塗りの太鼓橋「鶯橋」や茶室の梅交軒に設けた舞台からの眺めは絶景です。

- \*もみじ苑公開…10月下旬～12月上旬
- \*入苑時間…9時～16時
- (ライトアップは日没から20時)
- \*場所…京都府京都市上京区馬喰町
- \*京福電車「白梅町駅」から徒歩5分
- \*市バス「北野天満宮前下車」すぐ
- Tel 075(461)0005



社会福祉法人 京都社会事業財団  
ライフ・イン京都(本館)

ライフ・イン京都  
ケアセンターこすもす

ライフ・イン京都  
ケアセンターひまわり

## ライフ・イン京都のデータ ※ケアセンターの共用施設については省きます。

事業主体：社会福祉法人 京都社会事業財団  
敷地面積：14,216.87㎡ 事業主体所有  
建物延面積：22,200.88㎡ 事業主体所有  
居室数：一般居室(1DK～3LDK)全室個室77タイプ 226室(定員288名)  
介護居室(ワンルーム)全室個室3タイプ 82室(定員82名)  
居室面積：一般居室 31.19㎡～85.56㎡ 介護居室 15.71㎡～21.45㎡  
交通の便：阪急京都線桂駅から約2,200m(専用バス約15分)  
所在地：京都市西京区山田平尾町46番地の2  
開設：昭和61年11月 ライフ・イン京都(本館)竣工  
平成7年4月 ケアセンターこすもす竣工  
平成17年10月 ケアセンターひまわり竣工  
類型：介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)  
表示事項：①居住の権利形態：利用権方式 ②利用料支払方式：全額前払い方式  
③入居時の要件：入居時自立・要支援・要介護  
④介護保険：京都市指定介護保険特定施設(一般型特定施設)  
⑤介護居室区分：全室個室  
⑥一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制：2：1以上  
共用施設：ロビー、フロント、売店、集合郵便受け、多目的ホール、レストラン、シアタールーム、大浴場、応接会議室、カルチャー教室、デイルーム、談話室、アスレチックルーム(機能訓練室兼用)、ビューテラス、図書室、茶室、和室(3室)、アトリエA、アトリエB(プレイルーム兼用)、一人用介護浴室、来客用駐車場  
利用時に費用が必要となるもの：美容室(予約制)、  
体験入居室・ゲストルーム：[本館2室]体験入居室/ゲストルーム兼用/予約制  
[ケアセンターひまわり1室]体験入居室/ゲストルーム兼用/予約制  
コインランドリーコーナー(2ヶ所・夫々洗濯機3台 乾燥機3台)  
利用契約及び利用料が必要となるもの：トランクルーム、駐車場

### 入居状況 2019年9月1日末現在

一般居室		介護居室	
189名		72名	
(男性 50名 平均年齢 82.2歳)	(女性 139名 平均年齢 85.2歳)	(男性 11名 平均年齢 87.9歳)	(女性 61名 平均年齢 89.6歳)



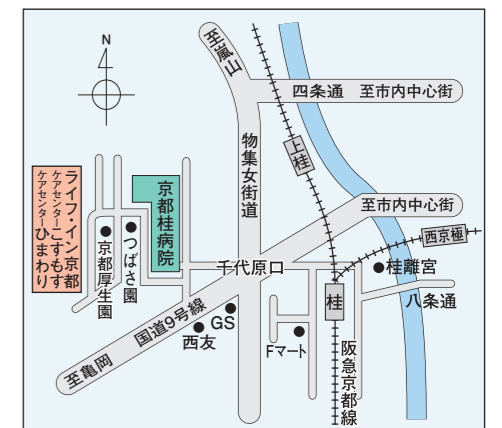
ライフ・イン京都



ケアセンターこすもす



ケアセンターひまわり



社会福祉法人 京都社会事業財団  
ライフ・イン京都  
LIFE IN KYOTO

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2  
TEL. 075-381-1870 FAX. 075-381-1899  
http://www.lifeinkyoto.com

ご入居に関するお問い合わせは ▶ 0120-406-140 (入居推進室まで) 午前9時～午後5時(土日祝も受付)

# おじゃまします

今回の訪問先

706号 柴田 廣さん



## 福祉避難所を

### ご存知でしょうか？



8月31日に当ホームで京都市総合防災訓練の一環として「福祉避難所運営訓練」が行われました。

今回の訓練では、当ホームの職員他、松陽自治連合会の方々、法人内高齢者施設の職員が参加し、京都市職員の指導のもと、開設準備から移送、対象者の受入など

福祉避難所の役割と運営実務について学ぶことが出来ました。初めての経験で戸惑う場面もありましたが貴重な体験となりました。しかし、実際の災害時は訓練のようにはいきませんし、想定外のこと

が起こり、対応に苦慮することが考えられます。今後訓練を重ね、災害に備えたいと思います。そして、ライフ・イン京都が地域資源と



して平常時、災害時にかかわらず社会に貢献することを目指して取り組んで参ります。

#### Q 福祉避難所とは？

一般の避難所（学校など）では長期の生活を送ることが困難な要配慮者が避難する施設です。一般の避難所への避難後にそのまま生活を続けることが困難な方を対象とするため二次避難所とも呼ばれています。

#### Q 対象者は？

要配慮者のうち高齢者や障害のある方など避難生活において特別な配慮を必要とする方で介護保険施設や医療機関などに入所・入院するに至らない程度の方が対象です。

※ライフ・イン京都は、京都市と「福祉避難所の事前指定に関する協定」を締結しています。

この度、関東地方を襲った台風15号により被災、大規模停電に見舞われた地域の皆様には心からお見舞い申し上げます。被災された皆様、復興に尽力されている皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 「病を忘れて絵手紙や

## 琵琶湖一周にチャレンジ」

福岡県でサラリーマンだった30歳の時、何かの拍子にぎっくり腰になった。仕事も儘ならぬ病院通いの日々、一人暮らしで、食事どころか水も飲めず、トイレに立つのもやっとの思いだった。

「いつの日か関西圏に住みたい」。豊かな緑、京都市内を一望その瞬間、ライフ・イン京都でお世話になることに決めた。



### 一歩いて琵琶湖一周にも挑戦へ

「今、『歩いて琵琶湖一周』に挑戦しています」と柴田さん。琵琶湖の4分の3は歩き終えた「琵琶湖一周ルート」は間違えると大変なことになります。地図を見るのが面白くて」と屈託ない。

新たに鉛筆デッサンにも挑戦中だ。11月には恒例の作品展が開かれ、「茶色と黒の猫2匹、どちらにするか迷っているんです」と柴田さん。「絵手紙、切手を貼って、皆さんに送るのが楽しみです」と眼を輝かせた。

「お世話になってからも、何度かぎっくり腰に見舞われました。でも、看護の方にお願ひしたら、毎日、弁当を部屋まで運んでくれました」と笑顔の柴田さん。今では食事はもちろん、トイレも一人で。苦痛だった病院も、通わなくてもよくなった。

### 引っ込み思案も

### 180度かげをひそめ

引っ込み思案の性格も180度かげをひそめた。入居して絵手紙を書き始めた。花の絵を題材にと、植物園があったことに気づき府立植物園へ。毎週土曜日に「土曜ミニミニガーデン」で、技術科職員に園を案内し

てもらえた。帰ってライフの園芸担当の職員さんにミニミニガイドで聞いてきた話をしていたら、ライフの入居者の方が職員さんと一緒に柴田さんの話を聞きたいと話に参加されました。

それがきっかけで、のちに「植物楽会」という同好会をたちあげることになったのです。

植物楽会でお話するためのプレゼンテーションやお渡しする資料をパソコンで作成するのとはかなり、の時間と手間がかかりますが、この作業を楽しんでやっています。今では植物楽会の参加者も十五〜六人になりました。



福祉避難所について、詳しくは京都市ホームページをご覧ください  
「京都市情報館福祉避難所について」 <https://www.city.kyoto.lg.jp/>





ケアセンターひまわり・ケアセンターこすもす  
**ケアセンター便り**



**食事会 & 夏祭り**

**すいか割り**

梅雨も明けすいか割りを開催しました。大玉のすいかを見た瞬間ご入居者から「わぁ、すごいなあ！」と歓声上がり、お一人ずつ「よいしょ！」の掛け声と共にすいかを叩いて頂きました。普段は車椅子を使用されているご入居者も、この時ばかりは立ち上がって力強く叩いておられ、フロア中に笑い声が満ち大変盛り上がりしました。



**食事会「握り寿司 むさし」**

「握り寿司 むさし」に来て頂き、ご入居者の目の前でお寿司を握って頂きました。昨年も行っており、大変好評で今年も行って欲しいとの希望が強く開催いたしました。

皆さん、美味しいそうなお寿司を目の前にニコリと嬉しそうな笑顔です。



**夏祭り**

「わにわにパニック」「輪投げ」「金魚すくい」の3つのゲームを楽しんでいただきました。

日頃、お部屋で過ごしておられる方もデイルームから聞こえる笑い声や、盆踊りの「炭坑節」の音楽に引き寄せられるように出て来られ楽しい時間を一緒に過ごすことができ「楽しかった」と感想を頂きました。



**最近の主な出来事**

EVENT REPORT

2019年5月～8月

**林 琢也コンサート  
「夢と魔法のメリーゴーランド」**

5月6日 参加者54名

演奏者 林 琢也氏



馴染みのあるクラシックの名曲からオリジナル曲まで演奏頂きました。ご入居者からは「最前列は息づかいまで聴こえて迫力もあり、演奏に引き込まれました」とのお声を頂きました。

**平成30年度運営状況説明会**

6月27日 参加者53名



今年も皆様に、財務状況、運営状況、介護の状況、職員の状況、要望等ご報告いたしました。

**健康長寿講演会  
「皮膚トラブルと健康長寿」**

5月28日 参加者41名

講師 和田 泰三氏  
(京都大学東南アジア地域研究研究所 連携准教授)



皆様、関心のあるテーマのひとつであり、ご入居者から沢山のご質問をいただきました。

**七夕のタベカラオケ大会**

7月7日 参加者85名



沢山のご入居者に歌を披露いただき大変盛り上がりしました！カラオケ同好会の皆様もご協力ありがとうございました。

**特別講演会  
～元号「令和」と長寿社会の在り方～**

6月23日  
参加者59名

講師 所 功先生  
(京都産業大学 名誉教授  
モラロジー研究所 教授)



所先生のご自身の体験談や皇室に関するお話、大変興味深い講演でした。

**バックヤード見学会**

7月16日 参加者15名



屋上の他にエレベーター室・ボイラー室・滝の裏・自家発電等、ライブ・イン京都での生活を支える大切な設備をご覧頂きました。

**ほろ酔い&ジャズライブコンサート**

8月2日 参加者63名

演奏者 阪井 揚子氏 (ヴォーカル) 西川サトシ氏 (ベース)  
鈴木 泰徳氏 (ドラム) 栗田 洋輔氏 (サクソ)  
小場真由美氏 (ピアノ) 松本 広大氏 (ギタリスト)



映画音楽やご入居者からのリクエスト曲を中心に演奏頂きました。ご入居者からも大変好評な行事の一つであり、猛暑を吹き飛ばすようなコンサートとなりました。

**盆踊り大会・大文字のタベ**

8月16日 参加者78名



心配しておりました台風10号も去りゲートボール場での開催ができました。櫓を囲みご入居者、職員が輪になって踊りを楽しみました。今年もたくさんのご家族、近隣の方にお越しいただきおおいに盛り上がりました！

information  
お知らせ掲示板

入退去状況

●新しくご入居されました

【本館】

令和元年7月1日

四一〇号室

中島 集 治様

喜美子様

\*他1名の方が

ご入居されました\*

【ひまわり】

令和元年5月から8月まで

\*4名の方が

ご入居されました\*

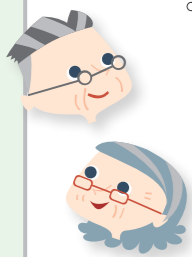
●ご逝去のお知らせ

令和元年5月から8月25日

までの間に、10名の方が

お亡くなりになりました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



新人職員紹介

【ケアサービス課】



宮本 千里  
山口県出身  
趣味 神社仏閣めぐり

【ケアセンター看護課】



小島 美佳  
広島県出身  
趣味 水族館へ行く事

【ケアセンター看護課】



山部 千春  
沖縄県出身  
趣味 旅行

よろしくお願ひします。

第23回 西日本事例研修会

令和元年7月11日(木)大阪科学技術センターで公益社団法人 全国有料老人ホーム協会主催「第23回西日本事例研修会」が開催されました。

近畿地区に所在する有料老人ホーム23ホーム25演題の発表があり各ホームの取組みを学ばせて頂きました。

発表概要

「ずっとこんな食事ですか」

～リスクがあっても食べたいというご本人の意思に寄り添って～



肺炎をきっかけに食事形態に制限がかかり、提供される食事に対して強く不満を訴えられるようになったご入居者に対し、毎日の食への不満を軽減させる方法を模索し「誤嚥のリスクがあっても、食べたいというご本人の意思を尊重する」事と向き合いました。

これからもご入居者の皆様の思いに寄り添いたいと思います。

書写書道教室  
が始まりました!



ご入居者からのご要望で書写書道教室が始まりました。ペン習字・小筆・太筆と個々に対応いたします。沢山の皆様のご参加お待ちしております。



◎書写書道教室  
月2回(1,000円/1回)  
講師 笹井 眞智子 氏

健康コラム

フィールドワーカー石本の

第25回

遠泳実習

京都大学 東南アジア地域研究研究所 石本 恭子  
川崎医療福祉大学



写真1 スタート前に円陣を組む学生

川崎医療福祉大学健康体学科では島根県の北浦海水浴場で、1年生を対象に毎年8月に遠泳実習を行っています。北浦海岸の水は透明度が高く非常に綺麗で、太陽に照らされるとエメラルドグリーンに輝いて、まるで南国に来たかのようにも思えます。

入学してすぐ遠泳実習に向けて練習が始まります。水泳初心者の方は、15回ある実技の時間だけでは十分に上達しないので、空き時間を利用して練習を重ねます。特に泳ぎが得意な学生は、先頭になり教員の指示を受け、的確な方向へ隊列を誘導するという重大な役割を担います。今年の先頭役となった女子生徒は、

ゴールまでしっかりと隊列を先導してくれました。泳力の低いグループが先頭の後に続き、その周りを泳力の高いグループが囲みます。早く泳ぐ必要はありませんが、泳力が低いグループにスピードを合わせ、かつ隊列を乱さず泳ぎ続けなければなりません。自分勝手な行動が命取りにもなりますので、協力が必要になります。中には残念ながらついていけない隊列から遅れてしまう学生も出てきます。その場合泳力の高い学生が付添い、遅れなくても泳ぎ続けられるように配慮します。

しかし、どうしてもこれ以上は無理だというときには、ストップがかかり、リタイヤになります。残念ながらリタイヤになった場合、大学のプールで泳ぐこととなります。

本番前夜には、教員が集まり天候、潮の流れ、学生の泳力などを考慮し、3時間泳いで浜に帰れるコースについて話しあわれます。毎年行っているとはいえ、自然が相手なので想定通りにはなりません。昨年は、天候不良で高さ1メートルを超える波の中を泳ぎ、手漕ぎボートが転覆するトラブルが起きました。時にはパニックになり溺れる学生がいます。どんな事態にも対応できるように、教員は万全の体制で挑みます。海では学生を船で取り囲み(写真2)、浜辺では救護班が

待機し、トランシーバーで船上の教員と連絡を取りあい、迅速な対応できるようにしています。今年度はコンディションが良く大きなトラブルなく終えることができました。

私は泳力が一番低い「栄光の6班」の担当でした(こう見えて、水泳は得意です)。5班編成の場合でも、「栄光の6班」となるそうです。今年の1年生は、泳力がかなり低いとの事前情報でしたが、それを払拭し本番では泳ぎ切ってくれました。

遠泳実習を通じて、自然との付き合い方、集団生活の中での協調性など、たくさん学んでくれていれば良いと思います。27年間無事故で終わっている遠泳実習ですが、これから無事故で続けられて行けるよう、気を引き締めていきます。



写真2 ゴール直前の様子